

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【公表番号】特表2009-529398(P2009-529398A)

【公表日】平成21年8月20日(2009.8.20)

【年通号数】公開・登録公報2009-033

【出願番号】特願2009-500377(P2009-500377)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/12 (2006.01)

A 6 1 B 17/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/12 3 2 0

A 6 1 B 17/10

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月12日(2011.1.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

胃腸内視鏡用クリップ器具送達装置であって、

細長胃腸内視鏡 10 のワーキングチャンネル 7 4 内に摺動可能にされた止血クリップ器具であって、細長展開器具 1 1 4 と着脱式に操作可能に連結され、半径方向に拡張した開放位置 1 2 7 ' と、止血のための係合閉止位置 1 2 7 " との間を移動可能な少なくとも 3 本のクリップアーム 1 2 7 を備える止血クリップ器具 1 1 1 と、

前記胃腸内視鏡 10 の遠位端部分上に着脱式に嵌まる近位チューブ装着部 2 2 0 を備える保護キャップ 2 1 0 であって、前記近位チューブ装着部 2 2 0 がチューブ収納ルーメン 2 2 2 を備え、当該保護キャップの遠位部 2 3 0 が、前記胃腸内視鏡 10 の遠位端部分の遠位に延在するように構成されて前記クリップアームを半径方向で拡張可能なように受け入れられるクリップアーム収容チャンバ 2 3 2 を備える、保護キャップ 2 1 0 と  
を備え、

前記近位チューブ装着部 2 2 0 の前記チューブ収納ルーメン 2 2 2 が前記胃腸内視鏡 10 の遠位端部分 6 5、1 9 0 ' を着脱可能に受け入れて気密係合し、内視鏡 10 を通してクリップアーム収容チャンバ 2 3 2 内に吸引をかけて対象組織を該クリップアーム収容チャンバ 2 3 2 内に引き入れることができるようにされている胃腸内視鏡用クリップ器具送達装置。

【請求項 2】

前記保護キャップ 2 1 0 の前記近位チューブ装着部 2 2 0 が、該近位チューブ装着部を前記胃腸内視鏡の遠位端部分 6 5、1 9 0 ' と着脱式に操作可能に連結するように構成される近位開口 2 2 4 及びチューブ係合内表面 2 2 6 を備える請求項 1 に記載の胃腸内視鏡用クリップ器具送達装置。

【請求項 3】

前記保護キャップ 2 1 0 が、前記近位開口 2 2 4 と当該保護キャップの遠位開口 2 3 4 との中間に配置されたチューブ制止要素 2 2 8 を有し、該チューブ制止要素が前記チューブ収容ルーメン 2 2 2 に向けて内側に突出するとともに前記胃腸内視鏡の遠位端部分 6 5、1 9 0 ' の前記保護キャップの前記近位チューブ装着部 2 2 0 に対する遠位方向への移

動を阻止するサイズであり、且つ前記クリップアームの前記近位チューブ装着部 2 2 0 から前記クリップアーム収容チャンバ 2 3 2 への通過を許容すると共に前記吸引を前記前記クリップアーム収容チャンバ 2 3 2 に通すサイズの通路 2 4 0 を有するチューブ制止要素 2 2 8 をさらに備える請求項 2 に記載の胃腸内視鏡用クリップ器具送達装置。

【請求項 4】

前記保護キャップ 2 1 0 の遠位部 2 3 0 が、前記クリップアーム収容チャンバ 2 3 2 に向けて内側に突出するとともに、少なくとも前記部分的に半径方向に拡張したクリップアーム 1 2 7 が前記保護キャップ 2 1 0 の前記遠位開口 2 3 4 を越える遠位移動を阻止するサイズのフランジ 2 3 8 をさらに備える請求項 2 に記載の胃腸内視鏡用クリップ器具送達装置。

【請求項 5】

前記胃腸内視鏡の遠位端部分 6 5、1 9 0' を貫通するとともに前記展開器具 1 1 4 を摺動可能に収容するよう構成されるワーキングチャンネル 7 4、1 8 8 を有する細長胃腸内視鏡 4 0、1 1 2 をさらに備える胃腸内視鏡用クリップ器具送達装置であって、前記胃腸内視鏡の遠位端部分 6 5、1 9 0' が外表面 6 6、1 9 6 及び遠位端面 7 8、1 9 8' をさらに備え、前記保護キャップのチューブ装着部が前記胃腸内視鏡の遠位端部分と着脱式に操作可能に連結される請求項 1 に記載の胃腸内視鏡用クリップ器具送達装置。

【請求項 6】

前記近位チューブ装着部 2 2 0 が、前記胃腸内視鏡の遠位端部分 6 5 上に嵌まるとともに、前記クリップアーム収容チャンバ 2 3 2 が前記胃腸内視鏡の遠位端部分 6 5 の遠位に延在するように前記内視鏡の遠位端部分 6 5 の外表面 6 6 上に着脱式に装着される請求項 5 に記載の胃腸内視鏡用クリップ器具送達装置。

【請求項 7】

前記胃腸内視鏡のワーキングチャンネル 7 4 内に摺動可能に配置されるとともに遠位端部分 1 9 0' 及び外側シースワーキングチャンネル 1 8 8 を有する細長外側シース 1 3 0、前記外側シースワーキングチャンネル内に摺動可能に配置されるとともに遠位端部分 1 5 2 及び内側シースワーキングチャンネル 1 4 8 を有する細長内側シース 1 4 0 をさらに備える装置であって、前記細長展開器具 1 1 4 が、前記内側シースワーキングチャンネル内に実質的に摺動可能に収容される操作ワイヤである請求項 6 に記載の胃腸内視鏡用クリップ器具送達装置。

【請求項 8】

外側シースワーキングチャンネル 1 8 8 と、外側シース遠位端部分 1 9 0' と、前記保護キャップチューブ装着部が着脱式に装着される外側シース遠位端部分外表面 1 9 6 とを有する細長外側シース 1 3 0 をさらに備える請求項 5 に記載の胃腸内視鏡用クリップ器具送達装置。

【請求項 9】

前記操作ワイヤが内部に摺動可能に収容される内側シースワーキングチャンネル 1 4 8 を有し、前記外側シースワーキングチャンネル内に摺動可能に収容される、細長内側シース 1 4 0 をさらに備える請求項 8 に記載の胃腸内視鏡用クリップ器具送達装置。

【請求項 10】

前記止血クリップ器具 1 1 1 が、さらに第 1 のリテーナ 1 2 0 を備え、該第 1 のリテーナ 1 2 0 から遠位に延在して遠位の歯 1 2 8 を有する前記アーム 1 2 7 の少なくとも 1 つを有し、前記止血クリップ器具 1 1 1 が、前記複数のアーム 1 2 7 を摺動可能に収容するルーメン 1 3 8 を有する摺動リング 1 3 2 をさらに備え、該摺動リング 1 3 2 が、前記第 1 のリテーナ 1 2 0 と前記遠位端の歯 1 2 7 との中間に配置されて前記アーム 1 2 7 をいっしょに係合して閉止するよう構成される請求項 1 に記載の胃腸内視鏡用クリップ器具送達装置。

【請求項 11】

前記第 1 のリテーナ 1 2 0 と着脱式に操作可能に連結される第 1 の端部分 1 6 2 と、前記細長展開器具 1 1 4 と操作可能に連結される第 2 の端部分 1 6 4 とを有する第 2 のリテ

ーナ 1 6 0 をさらに備える請求項 1 0 に記載の胃腸内視鏡用クリップ器具送達装置。

【請求項 1 2】

前記摺動リング 1 3 2 が、複数のクリップアーム 1 2 7 の周囲に配置されて前記クリップアームを閉止位置 1 2 7 " に移動させる摺動リングの第 1 の位置 1 3 5 と、前記クリップアーム 1 2 7 を互いに離間させて拡張位置 1 2 7 ' とする摺動リングの第 2 の位置 1 3 5 ' との間を移動可能である請求項 1 0 に記載の胃腸内視鏡用クリップ器具送達装置。

【請求項 1 3】

前記第 1 のリテーナ 1 2 0 が、遠位の第 1 の端部 1 2 4 と、前記第 2 のリテーナ 1 6 0 のノッチ 1 6 6 と係合するよう構成されるフック 1 3 7 を備える近位の第 2 の端部 1 2 2 と、前記第 2 のリテーナ 1 6 0 のフック 1 3 7 ' と係合するよう構成されるノッチ 1 2 6 とを備える、請求項 1 2 に記載の胃腸内視鏡用クリップ器具送達装置。

【請求項 1 4】

前記保護キャップの遠位部 2 3 0 が、クリップアーム収容チャンバ 2 3 2 へのアクセスを前記保護キャップの遠位開口 2 3 4 及び通路 2 4 0 を通してのアクセスに限定して、前記吸引及び前記止血クリップ器具 1 1 1 は該通路 2 4 0 を通して前記クリップアーム収容チャンバ 2 3 2 に通じるように構成されている請求項 3 に記載の胃腸内視鏡用クリップ器具送達装置。

【請求項 1 5】

前記保護キャップの遠位部 2 3 0 が側部開口の無いものとされ、前記対象組織が前記保護キャップの遠位開口 2 3 4 を通してのみ引き込まれるようにした請求項 1 4 に記載の胃腸内視鏡用クリップ器具送達装置。

【請求項 1 6】

前記保護キャップの遠位開口 2 3 4 は、遠位方向に面して、前記保護キャップの遠位部 2 3 0 の内面から半径方向内側に向かうに従い前記保護キャップの前記近位開口 2 2 4 側へ傾斜して円錐状とされた面を有し、前記クリップアーム収納チャンバ 2 3 2 に開口 2 3 4 を通して引き込まれる対象組織が損傷されないようにされている請求項 1 5 に記載の胃腸内視鏡用クリップ器具送達装置。

【請求項 1 7】

前記通路 2 4 0 は、前記保護キャップの長手軸線に沿った当該保護キャップの中央位置に設けられている請求項 3 に記載の胃腸内視鏡用クリップ器具送達装置。

【請求項 1 8】

前記密封係合は、気密係合とされている請求項 1 に記載の胃腸内視鏡用クリップ器具送達装置。